

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜令和 5 年度＞ （ 北行政センター ）

事業名	【北区の絆プロジェクト】地域を繋ぐ町興しイベント			
実施団体名	一般社団法人MIYAKODA			
事業の目的	住民や関係者が一堂に介し交流できるイベントを行うことで、新たなコミュニティの創設、地域行事の継承、地域の魅力の再認識・発信を図り、今後の継続的なまちおこしの契機とする。			
事業の成果 (内容)	【内容】 都田地内において、地元団体による物産・体験ブースやステージイベントを開催した。 【成果】 ・目標集客数 2,000 人に対し約 3,000 人の集客を得られ、これまで希薄であった住民間の関わりが、本イベントへの出展や来場を契機に、日常的な交流が生まれた。 ・これまで関わりの少なかった若手世代の参画により、既存の地域行事への担い手確保や、本イベントの継続的な実施への契機となった。 ・地域の農産物や食品等を、生産者や事業者自らが販売できる機会を提供したことで、地域の魅力として発信できた。			
総事業費 (円)	410,750円	補助金額 (円)	200,000円	
評価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
地域との関係が比較的希薄だった世代が運営に関わり、集客目標 2,000 人に対し 3,000 人と想定を大きく上回る集客を得たことは、新たな地域コミュニティの創設の契機となり得るもので、今後の地域行事の維持・活性化にも期待がもてる。 また、地域団体に自ら出展・出演できる場を提供したことで、地域の食材や活動などの魅力の更なる発信に寄与したものと認められる。外部出展料収入があることで今後の財政支援を必要とせず事業を行うことが期待される。 今後は、都田地区の魅力を地域内外に発信するためのイベントとして、自立し継続されることから、更なる発展を期待する。				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和5年度> （ 北行政センター ）

事業名	地域の子どもたちに未来をひらく学習応援事業			
実施団体名	特定非営利活動法人まちづくり細江			
事業の目的	核家族化や少子高齢化により希薄化した、地域の世代間交流を活性化する。			
事業の成果 (内容)	【内容】 細江地域にゆかりのある方を講師に迎え、小学生を対象とした体験講座を年4回実施した。（「ウォーキングを通じてエコを学ぶ」、「自己コミュ体験と絵はがき作り」、「昔の遊びを通じて地域の文化を学ぶ」、「災害から身を守る体験学習」） 【成果】 ・目標 75 人に対し延べ 81 人の参加者があり、参加小学生のみならず同伴した保護者等にも好評を得た。 ・細江地域の素材を活用したメニューとしたことで、運営・講師と小学生・保護者間の新たな世代間交流のみならず、小学生の地域愛の醸成に繋がった。 ・チラシの配布・回覧により参加者を募集したが、対象とした小学生とその保護者の反応は薄く、SNS を利用した告知への切り替えの必要性を学習した。			
総事業費 (円)	1 8 3 , 2 6 2 円	補助金額 (円)	8 9 , 0 0 0 円	
評価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
目標を上回る参加者を得られ、参加者の親と子の世代、講師や運営側の上の世代との講座を通じた交流が図られたことは、細江地域の新たな世代間交流に繋がったものと認められる。 また、講座の会場を細江地域としたことで、参加者が地元の魅力に気づくことができる貴重な場としても活用された。 事業規模や費用を考慮し、参加者の増加やさらに地域に根ざした活動など広がりを目指す。 今後は、課題として挙げられた告知面での工夫や、財源確保の工夫を施すなかで、更に発展した事業として継続していただくことを期待する。				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和5年度> （ 北行政センター ）

事業名	奥浜名湖地域おこしイベント			
実施団体名	奥浜名湖手筒花火文化継承の会			
事業の目的	奥浜名湖地域の魅力を広く発信することにより、新たな誘客につなげるとともに、後継者不足に存続が危惧される民俗文化の継承を促す。			
事業の成果（内容）	【内容】 奥浜名湖地域の民俗文化の一つである「手筒花火」184本を、大河ドラマ館広場において放揚し、地域の魅力発信と若者への文化継承を促した。 【成果】 ・大河ドラマ館主催の「秋の出世パークフェスタ」とのタイアップにより、延べ5,000人、手筒花火放揚時約1,000人の集客を得ることができ、手筒花火文化や奥浜名湖地域の魅力発信のみならず、観光協会との連携から新たな誘客の契機となった。 ・イベント終了後のSNSによる投稿の反響は高く、4名の方から保存会への入会問い合わせを受けた。 ・イベントを通じ、奥浜名湖地域の手筒花火保存会の新たな連携体制が構築され、手筒花火の制作・放揚技術面での交流から、文化継承の契機となった。			
総事業費（円）	4,793,828円	補助金額（円）	2,000,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
大河ドラマ館や観光協会とのタイアップによる集客や、SNSでの反響の高さから、市内外の多くの方々に奥浜名湖地域の手筒花火文化を体感してもらうことができ、奥浜名湖地域の魅力の発信に寄与したものと認められる。 また、本事業を通じた手筒花火団体間の技術・共有に加え、保存会への新たな入会希望者を得たことは、今後の手筒花火文化の更なる発展に期待が持てる。 今後は、本事業で得た連携体制や後継者とともに、奥浜名湖地域の手筒花火文化の更なる発展・継承に努めていただくことを期待する。				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜令和 5 年度＞ （ 三ヶ日支所 ）

事業名	わくわくH a p p yコンサート		
実施団体名	わくわくH a p p yコンサート実行委員会		
事業の目的	市民に気軽に音楽の楽しさを体験する機会を提供するとともに、地域の児童の運営・出演参加により音楽への親近感を高める。		
事業の成果 (内容)	【内容】 地元中学生のボランティア参加を得て、北区に縁のある奏者が多彩なジャンルの演奏を行い、約 200 人の入場を得た。 【成果】 ・多彩なジャンルの生演奏により、音楽の楽しさや音響レベルの高い三ヶ日文化ホールの素晴らしさを伝えることができた。 ・地元中学生のボランティア参加や、地元合唱団体の出演により、音楽会への親近感を高めることができた。 ・入場料の代わりに、三ヶ日地区の特産である温州みかんを持ち寄った結果、約 100 キロが集まり、地域の子ども食堂に寄贈した。		
総事業費 (円)	3 0 0 , 3 2 3 円	補助金額 (円)	1 5 0 , 0 0 0 円
評 価	項 目	ランク	
		A	B
		C	
	1) 北区らしさ	高い	普通
	2) 事業目的の達成度	高い	普通
	3) 財政支援の必要性	高い	普通
	4) 費用対効果	高い	普通
意見等			
事業の運営に地元の中学生ボランティアが携わったり、地元合唱団体が出演したりしたことは、音楽への親近感の高まりのみならず、新たな世代間交流の契機となり得るものである。 また、幅広い年代の入場者に対し、様々なジャンルの演奏を提供したことは、音楽の楽しさや三ヶ日文化ホールの音響効果の高さを広く伝える機会となったものと認められる。 さらに、入場料の代わりに特産の温州みかんを持ち寄ったことは、三ヶ日地区ならではの企画のユニークさも伺える。 今後は、本事業により得たノウハウや繋がりを活かし、より多くの集客を図るため開催時期を工夫するなどして、三ヶ日地域の音楽イベントとして継承していただくことを期待する。			